

1 単元名 わくわくクイズでことばのキャッチボール (教材『『すきなもののクイズ』をしよう』)

2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、「わくわくクイズ大会を行う」ことを位置付けた。ここでは、クイズを出題して、分からないことを質問したりその質問に答えることを自覚して応答したりすることに重点を置く。このことで「互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと」(A 話すこと・聞くことオ)を確実に実現できるようにしている。

3 単元について

(1)児童観

1学期の「こえのゆうびんやさん」の学習では、大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くことをめあてに、指示を聞いて友達に正しく伝えることができた。また、声の大きさに気を付けてははっきりと話せるようになってきた。大事なことを落とさないように聞くことに関しては、普段の話を聞く場面においても繰り返し指導している。

事前調査

(平成*年*月*日 *人)

項目	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
人の話を聞くことは好きだ	*人	*人	*人	*人
みんなの前で話すことは好きだ	*人	*人	*人	*人
二人で話し合うことは好きだ	*人	*人	*人	*人
みんなの前で分かりやすく話すことができる	*人	*人	*人	*人
進んで質問したり感想を言ったりできる	*人	*人	*人	*人

(2)教材観

本教材は、クイズとヒントを出し、尋ねたり応答したりする言語活動を通して、対話の基本を学ぶことができるものである。子どもたちにとっては、クイズは身近な遊びであり、自然にやりとりを楽しめる内容である。また、子どもたちの好きなものをクイズにすることにより、興味・関心が高まり、「友達に当ててもらいたい」「クイズに正解したい」と双方の気持ちが一致して対話が深まると考えた。本教材の大きな特徴は、ヒントと共にクイズを出題し、答える側は質問をしながら答えを当てていくところにある。

このことから、話題に沿って質問したり答えたりして対話を深める力を楽しみながら育成するために適した教材であると考えられる。

(3)指導観

指導に当たっては、第一次でクイズのグッドモデルを見せることにより、学習活動の具体的なイメージをもたせる。またモデルから、対話のやりとりについての視点をもたせたい。ヒントとなる特徴と共にクイズを出し、分からないことを質問したり分かりやすく答えたりすることにより答えに迫っていくクイズであることをつかませる。このクイズは友達と一緒に作り上げていくもので、みんなが楽しめてわくわくするようなクイズを作ろうという意欲をもたせる。そして、児童と一緒にわくわくクイズ大会までの学習計画を立て、見通しをもって学習に取り組めるようにする。

第二次では、クイズの問題作りと練習を行う。まず、自分の好きなものをたくさん挙げていく。その中からクイズに出すものの特徴を考えさせていきたい。考えやすくするために、ウェビングを用いて連想して特徴を書き出していく。形や色、大きさなど、ヒントとなる観点を共有し、課題解決していく手立てとする。何にでも当てはまるヒントでは答えられず、知らないことをヒントに出されても分からない。みんなに分かるような適切なヒントを選ぶことにより、クイズに正解したり当ててもらったりする達成感を味わえるようにする。次に、クイズを出して対話の練習を行う。3人グループの中で、役割を代えて繰り返し練習を行い、適切な質問の仕方やその答え方を習得させていく。

第三次では、第二次で習得した力を活用してクイズ大会を行う。多くの友達との交流により対話の楽しさを実感できるようにする。

4 単元の目標

- 自分や友達の好きなものについて、興味をもって話し合おうとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- 相手に伝わるように話そうとしたり、それを聞いて答えたり質問したりすることができる。
(話すこと・聞くことオ)
- 色、大きさ、形を表す語句など、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
・クイズに興味をもって出題したり、質問したりして、話し合おうとしている。	・相手に伝わるように適切な質問をしたり、質問されたことに対して内容に合わせて答えたりしている。	・色、大きさ、形を表す語句など、意味による語句のまとまりがあることに気付いて、話したり聞いたりしている。

6 指導計画（7時間扱い・・・本時第6時）

次	時	主な学習活動・内容	主な評価
一	1	・「わくわくクイズ」のグッドモデルを見て、対話のやりとりの仕方に気づき、どんなヒントが必要かものの特徴を共有する。 ・わくわくクイズ大会までの計画を立てる。	・「わくわくクイズ」の出し方や答え方を理解し、楽しみながらクイズを作ろうとしている。 (関心・意欲・態度)
二	1	・自分の好きなものの絵を描き、ウェビングをしながら特徴を見つける。	・好きなものの特徴を考えて、様子を表す言葉を集めている。 (関心・意欲・態度)
	2	・クイズにするものを選び、特徴を分かりやすく伝えるためのヒントを選ぶ。	・ものの特徴を伝えるためにどんなヒントが必要か考えている。 (言語についての知識・理解・技能)
	3	・好きなものの特徴が伝わるように、様子を表すのにふさわしい言葉を用いて文を書く。	・好きなものの特徴が伝わるように、様子を表すのにふさわしい言葉を用いて文を書いている。 (話す・聞く能力)
	4	・グッドモデルを見て、クイズの出し方、質問の仕方、答え方を理解し、クイズをするときに気をつけることを確認する。	・クイズを出し合うときの話し方や聞き方を理解している。 (話す・聞く能力)
	5	・グループになり、クイズを出して話し合う練習をする。 ・練習の様子を振り返り、良かったところを話し合う。	・クイズやヒントをはっきり話したり、話を聞いて分からないことを適切に質問したり、答えたりしている。 (話す・聞く能力)
三	1	・わくわくクイズ大会を行う。	・クイズやヒントをはっきり話したり、話を聞いて分からないことを質問したり答えたりしている。 (話す・聞く能力)

7 本時の指導

(1) 目標

- ・クイズを出したり答えたりすることを通して、話題に沿って話し合う練習をすることができる。

(2) 準備・資料

- ・クイズの問題シート，学習計画表，キャッチボールの話型の掲示物，よい話し方・聞き方の掲示物，質問の観点

(3) 展開

☆言語活動を充実させるための手立て

学 習 活 動 ・ 内 容	指導・支援の手立てと評価 (〇・・・評価)
<p>1 本時の学習課題を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <p>しつもんしたり，こたえたりして，わくわくクイズのれんしゅうをしよう。</p> </div> <p>2 練習で気をつけることを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後までよく聞いて答える。 ・答えが分からないときは質問する。 <p>3 グループ内で順番にクイズを出して，話し合う練習をする。</p> <p style="margin-left: 40px;">(クイズを出す人) (質問する人)</p> <p style="margin-left: 40px;">ぼくの好きなものを はい。</p> <p style="margin-left: 40px;">あててください。 わかりません。</p> <p style="margin-left: 40px;">ヒントを出します。 しつもんします。〇〇</p> <p style="margin-left: 40px;">いいえ，ありません。 がありますか。</p> <p>4 代表グループの話し合う様子を見てよいところを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さいごまでよくきいていたとおもいます。 ・わからないときはしつもんをじょうずにしていました。 ・大きなこえでクイズを出したりこたえたりしていた。 <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・2つのだいじなことができたから，わくわくクイズたいかいでたくさんの人とクイズができそう。 ・〇〇さんのグループみたいにできるように，ほんばんはがんばりたい。 ・〇〇さんのしつもんわかりやすくこたえたらせいかいしてくれてうれしかった。 </div> <p>6 次時への学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は，クイズ大会を楽しむための練習であることを学習計画表で確認し，3人組でクイズを出し合う練習をすることを伝える。 <p>☆既習事項であるよい話し方・聞き方や，クイズ大会の話型については掲示物を使って確認する。</p> <p>☆クイズは，友達と協力して答えを見つけ出していくゲームであることを確認して，分からないことを質問したり質問に分かりやすく答えたりすることが大切であることを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問につまったら，前時までに学習したヒントの観点を見ながら質問を考えてよいことを伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・質問につまった児童には，ヒントカードを渡し，質問を考える手立てとする。 ・答えが分からないグループに対しては，よい質問を考える手立てとなるように，質問の回数を5回までとすることを助言する。 ・3人が出題を終えたグループは，2問目のクイズを出し合うように伝え，練習をたくさんできるようにする。 <p>〇クイズやヒントをはっきり話したり，話を聞いて分からないことを適切に質問したり，答えたりしている。 (観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表のグループの様子を見る前に，自分の練習を振り返り，練習で気をつけることができただろうか振り返るように伝える。 ・全体で見た後には，代表のグループの良いところをたくさん挙げられるように児童を意図的に指名し，全体でも共有できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・代表グループの様子を見たことや，グループで練習したことを振り返りながら，本時の学習に対して自分はどうかだったのか，またわくわくクイズ大会への思いなどをカードに記入できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・次時は，クイズ大会の本番であることを学習計画表で確認し，多くの友達と話し合うことへの意欲を高める。